

令和3年度 湯浅町立山田小学校（学校経営方針）スクールプラン

〈山田地区の願い〉
家庭で躰け・学校で学び・地域で育つ
「山田の明日に責任をもつ教育を！」

学校教育目標
自ら学び、心豊かでたくましい子供を育成する

〈学校の特色〉
複式学級での縦もちのメリットと教科横断的な視点を生かす

- 【めざす教師像】
- ㊦ 日々研鑽を積み授業力を磨く教師
 - ㊧ 生き生きと活動的であたたかい教師
 - ㊨ 健全な心と体をもつ教師
 - ㊩ 努力を惜しまずやる気をもって取り組む教師

- 【めざす子供像】
- ㊦ 自ら学び考える子
 - ㊧ 心豊かで明るい子
 - ㊨ 健康でたくましい子
 - ㊩ ねばり強く挑戦する子

- 【めざす学校像】
- ㊦ 学力向上をめざし、共に考え共に伸びる学校
 - ㊧ 協調・協働の精神にあふれた信頼される学校
 - ㊨ 活気に満ち、教育活動に生き生きと取り組む学校
 - ㊩ 家庭や地域と共に子供の成長に尽くす学校

[教師の課題]

* 深い教材研究の上での確かな授業設計
 * 状況把握をした上で工夫した職務遂行

研究主題

学習する楽しさと意義を実感しながら主体的に学ぶ児童の育成
 — 対話を通して考えを深め・ひろげる —

[児童の課題]

* 見方・考え方を働かせた課題追究・解決
 * 対話のよさを生かした深い学びの実現

重点目標	学習指導の充実	豊かでたくましい心育て	健やかな体の育成	地域と共にある学校
	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 基礎・基本の確かな定着 ㊧ 子供主体の授業の推進 ㊨ 各教科における深い学びの実現 ㊩ 読書活動推進と読書の習慣づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 道徳教育及び人権教育の充実 ㊧ 互いにあたかく作用し合える学級集団及び縦割り集団づくり ㊨ いじめの未然防止、早期解決 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 体力向上に向けての取組の推進 ㊧ 危機回避能力の育成 ㊨ 基本的な生活習慣の確立 ㊩ 健康の保持増進に係る意識向上 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 家庭・地域との連携の充実・深化 ㊧ 中学校区における学校間及び保幼小の連携の充実 ㊨ 地域の資源活用の推進と活発化
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 『湯浅の学び』を活用しての複式学習の充実 ㊧ 日々の授業実践での授業力向上 ㊨ 朝読書の時間や学校図書館の利用を通じた児童の読書習慣の定着と、語彙力、情報収集能力や情報活用能力の向上 ㊩ キャリアノートを活用して学習規律と学習に向かう構えの確立 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 問題解決的な道徳科の授業実践を通して、「考える道徳」、「議論する道徳」の実現を図る ㊧ 「つながる命を感じる」「違いを認め合う」「自分を受け入れる」「関心をもち正しく知る」を大切にし人権意識を高める ㊨ いじめアンケートによる未然防止、早期発見・早期対応を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 体力アッププランにもとづき、運動能力及び体力の向上に向けた授業改善・全校体育の実施 ㊧ 避難訓練、防犯訓練を通して防災防犯意識の向上を図る ㊨ 食育の推進と給食指導の充実を図り、望ましい食習慣の定着と心と体の健康のバランスを意識する態度を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 各種たより（通信）やHP等とおして積極的に、学校の教育活動の様子を発信するとともに、授業や行事などを公開していく ㊧ 学校運営協議会の活動により、学校運営の改善や児童の健全育成を図る ㊨ 中学校区内における授業研究と保育所との定期的な交流を行う
指標	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 各学力調査で正答率が前年度比5ポイント以上の向上をめざす ㊧ 児童アンケートにおいて、学習意欲に係る項目の評価を上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 指導計画のもと道徳科の教科書の内容を100%取り扱う ㊧ 児童アンケートで、『学校が楽しいと感じる』を100%にする 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 体力テストの結果を向上させる（個々の伸び率に着目して） ㊧ 児童アンケートで『早寝・早起き・朝ごはん』を100%にする 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 保護者アンケートにおいて、『学校の取組や児童の様子が伝わった』を90%以上にする ㊧ 地域人材の活用場面を増やす